



一般社団法人

滋賀県介護福祉士会 ひろがり

The Shiga Association of Certified Care Workers

2020. 3

VOL.085

会員数840名 10月末現在

新年のご挨拶

滋賀県介護福祉士会

会長 □村 淳

日本介護福祉士会の動向として、ファーストステップ研修を修了した方を対象に、新たに「チームリーダー研修」(仮称)の創設が検討されています。この研修のキーワードは、ずばりマネジメントです。

マネジメントを考えるにあたり、松下幸之助氏(パナソニック創業者)の「部下に大いに働いてもらうコツの一つは、部下が働こうとするのを、邪魔しないようにするという事」という格言が参考になります。リーダーだから隅々まで管理したくなる気持ちはわかりますが、思い切ってメンバーに仕事を任せてみるほうが、かえってスムーズにいく場合もあるのです。介護現場は一人で働くものではなく、常にチームで行動するものだからです。

とはいえリーダーも生身の人間であり、自身が傷ついては本末転倒になります。そんな時、斎藤茂太氏(精神科医)の「本当に有能な上司は、部下にも自分にも適度に甘い」という言葉が参考になります。介護現場での仕事は、一過性ではなく、長丁場といえます。「頑張りすぎないことも、ご自身の心身の健康を保つ上では大切な要素となります」。

本年も滋賀県介護福祉士会は、会員の皆さんの悩みや困りごとに寄り添える組織であり続けたいと考えます。



救護施設で働く 介護福祉士の紹介



私は滋賀県大津市にある救護施設 滋賀保護院で勤務している川端信人と申します。

救護施設は滋賀県内に5施設あり、大津市に1施設、蒲生郡に1施設、高島市に3施設あります。救護施設は施設数が少なくあまり詳しく知らないという方も多いと思います。

救護施設は身体や精神の障がいがあり、経済的な問題も含めて日常生活をおくる事が困難な方たちが利用している保護施設です。

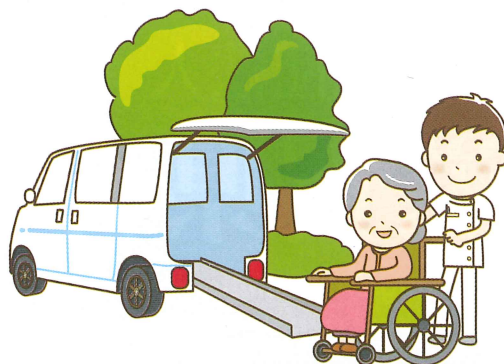
滋賀保護院は定員100名で現在99名の方が利用されています。年齢は32歳の方から91歳の方まで幅広く利用されており、身体障がいのある方、知的障がいのある方、精神障がいのある方、それらの障がいを重複して持つ方、アルコール依存症の方、ホームレスの方など多様な方が利用されています。近年では職を失い、生活基盤を失い、一時的に利用される方も増えてきています。

滋賀保護院では、本体事業の他に入所されている方がス

ムーズに居宅生活に移行できるように居宅訓練事業と居宅に移行してから安定して生活が送れるように通所事業と訪問事業を行っています。

ケアワーカーは現在21名おり、利用者の日常生活の支援、就労支援、通院支援等を行っています。

様々な方が利用されており、知識不足を感じていますが仲間や多職種間と連携しながら日々奮闘しています。今後も目標を持ち、スキルアップしていきたいと思っています。



湖北ブロック研修報告

報告者：北村 健宏

去る1月24日（金）、18時30分～20時に「褥瘡予防と排泄ケア」をテーマに市立長浜病院で皮膚・排泄ケア認定看護師の笠原みずず先生をお招きし研修を開催しました。

当日は夜分にも関わらず、23名の方が参加されました。講義と実技の構成で進行され、褥瘡発生要因～観察方法～体圧管理～ずれ・摩擦の予防～スキンケア～効果的なオムツの当て方について学ぶことができる内容でした。トピックスとして医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）やスキンテア（摩擦・ずれによって皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷）の具体例にも触れられ、予防する為の実例なども示されました。

研修後アンケート結果でも「よい～とてもよい」と約80%の方が回答され、自由記載にも「足先まで全身の圧抜き的重要性を学べた」「写真で実際の褥瘡を見れてわかりやすかった」

「色んな関係者が集まる研修は色んな刺激も加わり楽しかった」とのご意見も頂きました。実技を通じた質疑応答も活発に行われ、有意義な研修でした。今後も様々なニーズに応えた研修を企画していきたいと考えておりますので参加をお待ちしております。



令和元年度介護職種の技能実習生指導員講習開催報告

今年度も1月15日に介護現場で外国人技能実習生の指導に必要な知識・技術を修得頂くことを目的に介護職種の技能実習指導員講習を開催しました。

研修内容としては「技能実習指導員が求められる役割を担うために制度を理解する」「技能実習の対象とされる介護についてや移転すべき技能と指導方法を理解する」「技能実習生の受け入れの留意点」について6時間30分に亘って学ばれました。最後には理解度テストを受け、受講された21名全員が合格され、無事に受講証明書を交付されました。

国際貢献となる介護の技能実習が適切な実習体制の確保や環境が整えられ、円滑な技能の修得につながるように願っております。

令和元年度認知症ケア研修



令和元年度認知症ケア研修を去る12月18日、1月23日、1月29日に開催いたしました。

認知症ケアの第一人者である宮島渡氏に講師として全3回ご登壇いただきました。

高度な講義内容でありながらも、理論的かつ実例も交え、分かりやすく有意義な研修であったと、受講生の皆様から好評をいただきました。

令和元年度障がい者研修を開催しました

2月5日（水）、障がい者研修を開催しました。

今年は「初級手話入門」と銘打ち、NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター様の出前研修を利用させて頂き開催いたしました。講師には聴覚障害者の方2



名、手話通訳者の方2名をお招きし、講師の先生のユーモアたっぷりの動作や表情で会場は大盛り上がりでした。基本の手話、2人1組で簡単な会話の実技練習を行い終了しました。

受講された皆さんからも高評価を頂きました。



編集後記

今年は、オリンピックイヤー！！

滋賀県の多くの選手も活躍を期待されています。出場が決定されるまでには、たゆまぬ努力を積み重ねてこられたことでしょう。私たち介護福祉士も、利用者さんのために日々研鑽を積み重ねていければと思います。

介護福祉士会は、皆さんのスキルアップに繋がる研修や講習会を開催して参ります。皆さんにとって本年が充実した年になりますようお願いしております。

本年も宜しくお願いいたします。

広報編集委員 鈴木妙子



一般社団法人 **滋賀県介護福祉士会**
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072
滋賀県笠山七丁目8番138号
滋賀県立長寿社会福祉センター内
TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173
E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp
URL: <http://www.shiga-jaccw.jp/>



▲スマートフォンは
こちらから

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)

10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。
お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。

表紙

「リハビリデイ湯本神照での
機能訓練」

撮影：堀 重吉